

# 大規模現場の安全対策

## 北海道がんセンター！全面建て替え

完成まで約4年の工期を要する北海道がんセンターの全面建て替えが始まった。本館棟、別館棟合わせて延約4万平方メートルに上る大規模現場は、3期にわたる工事が進められる。施工を担う竹中工務店、田中組共同体制は「安全がすべての仕事に優先する」をモットーに、現場作業員と機材のつながりを密着させて日々の作業に細心の注意を払う。2022年の完成後は、本道のがん医療の中心的施設として、さらなる機能強化が図られ、多くの患者を救うことが期待される。



この5月、病棟の本館棟、別館棟は6,000平方メートル、別館棟は6,000平方メートル、地上4階、延べ51,000平方メートルの規模。施工は主に竹中工務店、田中組共同体制。本館棟には医療機能を集中させ、一般病室400床、緩和ケア病室20床、ICU病室4床、手術室3室を設ける。本館棟西側の市道通水3線路を挟んだ向かいに建設する別館棟は、保育所や研究室、事務所などが入る管理棟として使用する。

高層棟と低層棟に分かれる本館棟には医療機能を集中させ、一般病室400床、緩和ケア病室20床、ICU病室4床、手術室3室を設ける。本館棟西側の市道通水3線路を挟んだ向かいに建設する別館棟は、保育所や研究室、事務所などが入る管理棟として使用する。

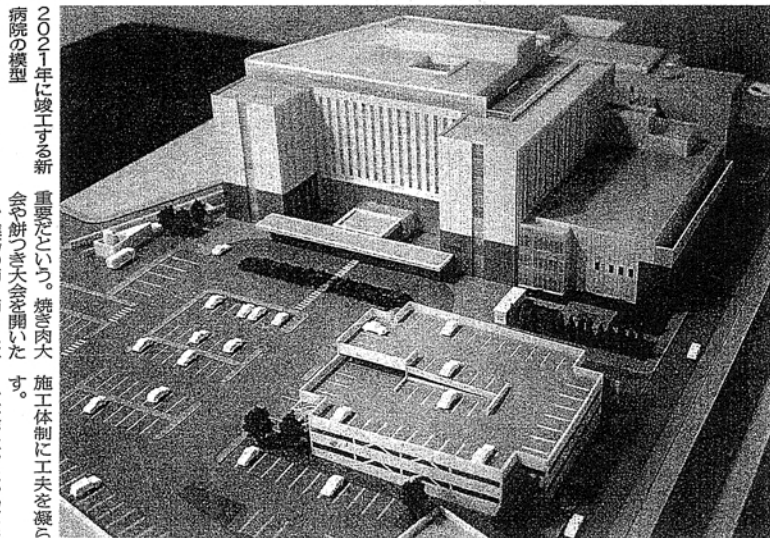
工事の3期に分かれる。18年7月までの1期は、低層棟と別館棟、本館と別館をつなぐ上蓋道路が対象。現在、2カ所の現場内で止めの掘削を進めており、完了後、基礎・地下躯体工事に入る。地上での作業は9月中旬以降となり、先行させる別館棟から順次鉄骨

本館で基礎工事が進む。付近は路地が入り込む住宅地。第三者災害の撲滅に力を入れる。

### 横の連携強め管理徹底

#### 延べ4万㎡完工へ100社で「リーダー会」

の組み立てを進め、12月までに外装回りを終えるスケジュールを描く。



2021年に竣工する新病院の模型

重要だ。横き肉大を併せて開く。施工体制に工夫を凝らす。

近直では、土砂搬出ダンプの出入りが多いため、第三者災害の撲滅に万全の注意を払った。森平所長は「現場の周辺は住宅街で、かつ既設施設は入院患者や高齢者の行き交いが多いため、安全確保が重要だ」と述べている。今後、現場運営を徹底して

長期にわたる施工現場には協同会社100社が携わる。多くの作業員が安全現場では徹底した安全管理が求められる。前にも経験してきたので、要望から何度も指導を受け、なぜか朝礼場に大きく掲げられる。この工法を採用したのが、工事現場で「安全」を確保するための重要なポイントだ。1、2日遅れても安全を確保してからの仕事を始めるという方針だ。この方針が現場運営を徹底して

3棟目の病院施工となる竹中工務店の森平直作所長。緻密な工程管理の下、常に現場の安全に目を配る一方、後進への技術伝承という使命感も胸に秘める。約4年にわたる現場を無事故無災害で竣工させたための心構えを聞いた。

「これまでもこのような現場を経験してきた。

主アパシオン関係に携わったのは建築の基幹。わたしたち。人の住まざる細かな要望やメンテナンス



竹中工務店 森平直さん 作業所長

### 若手育てつつ戦力に

### 選択させ考える力養う

「建設施工には30代、20代の若手技術者を配置している。安全スロウダウンの安全がすべての仕事に優先する。職も協力会社も含めて一つの大きな輪がなっている。皆で安全を守って仕事を終

「建設施工には30代、20代の若手技術者を配置している。安全スロウダウンの安全がすべての仕事に優先する。職も協力会社も含めて一つの大きな輪がなっている。皆で安全を守って仕事を終